

# 都小音研

平成30年7月13日第60巻428号

発行所  
東京都小学校音楽教育研究会

事務所  
東京都世田谷区松原5-43-26  
世田谷区立松原小学校

## 音楽の力

東京都小学校音楽教育研究会  
理事長 峯岸 敦子  
(世田谷区立松原小学校長)

今年度、都小音研小学校部会の研究主題は「つなげよう 深めよう 生かそう 音楽を」です。前号の会報に、これまでの研究の成果と新教育課程の方向性を踏まえ、学びを深める学習をより充実させていきたいということと、児童が生活や社会との関わりの中で音楽の果たす役割に気付いたり、授業で学んだことを生活に生かそうとしたりする学習についても研究を進めていく、とありました。この「生活や社会の中の音楽の役割」を自分なりにずっと考えている今日この頃です。

子供にとって音楽を学ぶ意義とは、を考える前に、自分にとって音楽とは何か、ということを考えてみたいと思います。

私の魂を揺さぶられる音楽体験の一つは、「アルバンベルク弦楽四重奏団」のコンサートでした。実は演奏そのものもさることながら、最も心が震えたのは、演奏の終末部分、残響が消えるまでの数十秒間でした。コンサートホールの2000人以上の観客が、息を止めてホール内空中を漂うもう鳴らしていない弦楽器の音色を目と耳で追いかけていました。時間が永く感じられました。衣擦れの音も心臓の音も自分の体から出してはいけなような感覚です。もはや音楽を共有するというより、演奏者も観客も世界を共有しているような気持ちになっていました。自然と涙が流れていました。そのあと誰かの一つの拍手が現実へと引き戻し、何とも言えないような幸福感でいっぱいになって、みんなで大きな拍手を送っていました。

このとき「音楽の力」が働いていた、と思います。以来この体験がしたくて、楽団が来日するたびに聴きに行きました。ほかの楽団の演奏でもこれに近い体験はありましたが、音が聴こえてくる中での幸福感でした。見えないものを見ようとする、聴こえないものを聴こうとするところに、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わろうとする意志が強く働く、そして感性を働かせて、音楽と豊かに関わり、喜びを得ることができるのだと思います。

感性ということを考えてとき、私は「センス・オブ・ワンダー」<sup>※</sup>をいつも新鮮に保ち続けたいと願います。生きているこの世界が感動に満ち溢れており、未来はいつも胸をときめかせるものに違いないと思って、生活することができたらどんなにか素晴らしいでしょう。

感性を豊かに働かせて、学校で友達と協働しながら音楽表現をしたり、見ず知らずの人とでも一体感を感じて演奏を聴いたりすることが、世界を創っていることにつながっていると思うのです。ですから子供にとって音楽を学ぶということは、世界の人とつながること、新しい世界を創ることだと思います。大きな話になりましたが、音楽教師の仕事はこの世界を幸福に溢れるものに変える「音楽の力」を引き出すことです。深い学びのある音楽の授業を目指して努力していきましょう。

※The Sense of Wonder センス・オブ・ワンダー 作レイチェル・カーソン より



# ♪ 平成30年度 都小音研 ♪ 各種研究会 活動紹介

都小音研の10の各種研究会。それぞれの活動内容を具体的にご紹介いたします。ぜひ積極的にご参加ください。

## 指揮法研究会 (代表/新宿・落合第六小 星 悦子)

本研究会は「子供の表現意欲を引き出す指揮法の工夫」をテーマに研究を進めています。指揮の基本技術の習得と楽曲の分析法を学びながら、指揮で児童に曲の特徴や良さを伝え、さらに演奏する意欲を引き出せる指揮の工夫を学んでいます。音楽会等で指揮をされることは多いと思いますが、その時だけの指揮ではなく、普段の音楽の授業の中で指揮を活用しながら、子供と音楽のコミュニケーションをとることが大切であると考えています。音楽会や卒業式で演奏するのにふさわしい曲の指揮法も学びますが、教科書教材も積極的に取り上げています。音楽の特徴を感じ取れる指導方法や指揮法を勉強し、日々の授業を大切に積み重ねることを目指しています。

## 編曲研究会 (代表/板橋・上板橋第二小 河合 智典)

授業で使用する教材を「曲が難しい」「既成の楽譜では編成上厳しい」「時間制限がある」などの理由で編曲しなければならない場合があります。そのような理由で会員が編曲した作品を中心に、実際に演奏したり録音したものを聴いたりしながら研究を進めています。昨年度は教科書教材「うみや和音を中心に検討をしました。また、音楽会で学年演奏できるように「越天楽今様」「そりすべり」の楽譜について研究しました。この2曲は授業公開として児童の演奏を聴いてから、編曲する上で配慮した点をふまえ、楽譜の検討をしました。

## 合唱研究会 (代表/小金井・南小 福岡 努)

「みんなで歌うのは楽しい。」「音楽大好き。」そんな児童を育てる授業を目指して、授業研究及び研究協議会を行う月例研究会、課題曲研究会、指揮者、作曲家等を講師に迎えた特別研究会、合唱祭等、充実した内容で研究を進めています。授業研究会では、教科書教材または、それに準ずる教材を用いて、日常の授業の中で児童が音楽の諸要素や仕組みを感じ取り、表現を工夫する学習や、思いや意図をもって歌う学習をどのように進めていくか研究しています。今年度は、新学習指導要領への移行を意識して、「音楽的な見方考え方」「主体的・対話的で深い学び」についても明らかにしていこうと取り組んでいます。

## 音楽授業研究会 (代表/練馬・関町北小 熊倉 佐和子)

音授研主題～意欲的な取り組みと音楽的な深まりのある学習過程の確立をめざして～音授研では、30・31年度と続く大会に向け、鑑賞領域での学習を通して、子供の成長を見届ける事を中心に研究を進めています。問題解決の過程を経て主体的に学び、音や音楽と豊かに関わる資質・能力を身に付けるようにすること、対話的な活動を通して音楽の捉え方を深めることに焦点をあてます。

8月3日の夏季研究会では、題材を例示して、音楽で身に付ける資質・能力を新学習指導要領に照らして考える機会にしました。新指導要領全面実施に向け、本会が発足時から大切にしてきた“子供主体の学び”について、私達と一緒に考えてみませんか？

## 管楽器研究会 (代表/渋谷・神南小 鈴木 朱代)

本研究会では、「伝えよう ぼくの私のハーモニー」を研究テーマに、管楽器指導法研究、管楽器実技研修に加え、管楽器を取り入れた授業の研究にも力を入れています。管楽器の豊かな響きを感じて表現の幅を広げる等、音楽科授業における管楽器の効果的な活用法について探っています。中でも、全日本管楽器教育研究会東日本大会での研究発表

の大きな成果である楽曲「わくわく あしたへ」(後藤洋作曲)は、リコーダーや鍵盤ハーモニカ、歌とバンドが一体となって演奏できる本研究会の財産です。管楽器を通して豊かな音楽活動を進め、幸せな人生を送れる子供の育成を目指しています。

## 合奏研究会 (代表/豊島・さくら小 武内 正子)

本研究会は、音楽会・学校行事などの合奏の演奏発表に向けた①選曲・②合奏のまとめ方・③各楽器の基礎的な演奏法などについての学びの場を、都小音研の皆様にご提供しています。会員の要望に合わせて講師の先生をお招きできるようにと心がけてきたので、今までも、たくさんの講師の先生にお世話になっています。(山本三郎先生・山田洋一先生・法島隆志先生・伊原福富先生・千田鉄男先生・佐々木眞理子先生・笠松徳司先生・北村正彦先生等々)

合奏は、器楽表現の授業がスタート地点です。30・31年度の研究大会が「各種研究会」中心にということで、実技研修が主な合奏研究会も次年度、研究授業に挑戦します。この研究大会によって合奏研究会の研究の門戸がさらに開き、より充実した会となることを目指していきます。

## 即興表現研究会 (代表/世田谷・尾山台小 海老原 正剛)

本研究会は「現代音楽家の作曲技巧から音楽づくりの題材化の可能性を探る」をテーマに研究を進めています。本年度は、これまでの様々な旋法による音楽づくりの流れから、JAZZのブルーノートスケール、メシアンの旋法に注目し、和声構成音に依存しない旋律づくりの研究を展開していきます。

## 鑑賞指導研究会 (代表/江東・川南小 長谷川 真澄)

本会では、「音楽の好きな子どもを育てる鑑賞の授業をめざして」を研究主題、「教材と指導法の研究を通して」を副主題に、深い学びも誰でも指導できる楽しい活動を取り入れた鑑賞の授業からと考え、研究をしています。

今年度は、これまでの世界の音楽についての研究を深め、都小音研大会と来年度の全日音研東京大会での発表を計画しています。また、今年度は第5学年で声、来年度は第6学年で楽器の音楽を中心に、発達段階を考慮した指導計画も含め、毎月、授業研究をしています。

7月30日には、江東区立川南小学校に坪能由紀子先生をお迎えして夏季研修会を実施します。13:00受付、13:30講習開始です。例会を含め、ご一緒に研究をしましょう。

## 邦楽教育研究会 (代表/荒川・瑞光小 染谷 美由紀)

学校教育でも、日本の伝統文化教育がより一層大切になってきています。

本研究会では、和楽器の実技研修や日本の音楽の授業実践を通して自国の音楽や楽器に親しみ、我が国に誇りをもって今後の国際社会を生きていく子供を育てたいと考えています。例年、箏や三味線など和楽器の実技研修も定期的に行っていますが、それに加え、今年度は都小音研の大会に向けて、和楽器を活用した五音階の音楽づくりの授業を、日本の音楽の特徴を視点に授業実践を重ね、研究を進めています。

## 電子楽器研究会 (代表/世田谷・代沢小 陸田 祐子)

電子楽器は音色の変化が簡単にでき、音色を工夫する活動では欠かせない楽器と考えられます。私たちは、授業における電子楽器の活用法を、「子供がすすんで取り組める豊かなアンサンブルを求めて」を研究主題として、顧問の先生の講義や実技指導、授業研究を通して研究しています。

昨年度は、曲想表現の工夫の学習における電子楽器の活用法について、楽曲の構造分析及びパートの役割と音色の選択を中核として、第6学年のグループアンサンブルの研究授業を交えて研究しました。今年度は、新しい学習指導要領の内容を踏まえ、器楽領域全般について、講義と演習、研究授業を通して学んでいます。

\*連絡先・定例日は都小音研名簿P.80をご覧ください。

# 第55回 児童作曲コンクールについて

事業部

第55回を迎える児童作曲コンクールは、本研究会の歴史ある事業となっております。応募要項(6月理事会にて配布)をご覧の上、ぜひ奮ってご応募ください。音楽で思いや願いを表現する児童の作品が、たくさん生まれることを楽しみにしております。

(A) 課題詩の部 \*ことばのリズムやアクセントを生かして、旋律をつくるようにしましょう。

「風と鈴と」 田口 静香 詩

「ぼくが いる」 小林 一恵 詩

(B) 自由作品の部(自由旋律) (自由ア) 旋律のみのもの (自作の歌詞は可)

(自由イ) 伴奏等がついたもの

◇作品受付期間 平成30年9月3日(月)～9月21日(金)〈必着〉

◇授賞式・入選作品演奏発表会 平成31年2月15日(金) 会場:カスケードホール(千代田区)

◇作品応募に関する問い合わせ・応募先

## 【児童作曲コンクール事務局】

足立区立花保小学校(藤井 小百合)

TEL 03-3885-7335

〒121-0062 足立区南花畑2-19-1

FAX 03-3885-7336

都小音研のホームページから本コンクールの応募要項・五線紙などをプリントアウトすることもできます。どうぞご活用ください。

## 今年度これからの各地区ブロック大会 案内

平成30年8月17日●第37回 全日本合唱教育研究会 全国大会 札幌大会

問い合わせ先:(全国大会札幌大会ホームページ) <http://scholachorus.jimdo.com/>

8月18日●日本学校音楽教育 実践学会 第23回全国大会

問い合わせ先:(日本学校音楽教育実践学会) <http://www.jassmep.jp>

8月22日●音楽教育推進協議会

平成30年度・前期「音楽科特別講座 名古屋会場」～明日の授業を創る～

問い合わせ先:音楽教育推進協議会事務局 03-5438-1677

10月20日●平成30年度 全日本音楽教育研究会全国大会 大学部会大会

問い合わせ先:武蔵野音楽大学内 全日本音楽教育研究会 03-3991-7462

10月25日・26日●平成30年度 第54回九州音楽教育研究大会 熊本大会/

第58回熊本県音楽教育研究大会 熊本市大会

問い合わせ先:熊本市立桜木中学校内 西原弘倫 096-365-1641

11月1日・2日●平成30年度 全日本音楽教育研究大会 高等学校部会大会 栃木大会

問い合わせ先:栃木県立栃木高等学校内 鈴木真由美 0232-22-2595

11月2日●第60回 北海道音楽研究大会 釧路大会

問い合わせ先:釧路市立愛国小学校内 種市文彦 0154-36-5630

11月8日●平成30年度 全日本音楽教育研究会全国大会小・中学校部会大会 和歌山大会/

第60回 近畿音楽教育研究大会 和歌山大会/第56回 和歌山県音楽教育研究大会

問い合わせ先:岡崎市立岡崎小学校内 岩本浩志

[iwamoto.hiroshi@wakayama-wky.ed.jp](mailto:iwamoto.hiroshi@wakayama-wky.ed.jp)

11月16日●第66回 東北音楽教育研究大会 庄内大会

問い合わせ先:酒田市立松陰小学校 校長 佐藤文雄 0234-33-0627

11月16日●第60回 関東音楽教育研究会 千葉大会/

第53回 千葉県小・中学校音楽教育研究大会 東葛飾大会

問い合わせ先:松戸市立馬橋北小学校内 高橋久枝 0473-344-8586

11月22日●中国・四国音楽教育研究大会 島根大会

問い合わせ先:松江市立美保関小学校 教頭 飯塚由紀子

[mihonoseki-e@city.matsue.ed.jp](mailto:mihonoseki-e@city.matsue.ed.jp)



都小音研 調査部からの提案！

## 会員名簿活用法

今年度も会員名簿の作成にあたり、先生方⇄地区理事⇄調査部、と数回の校正作業を経て完成することができました。ご協力をいただき、ありがとうございました。

さて調査部では、完成した会員名簿の活用法を考えてみました。

①研修会の講師を探している……顧問の先生、名誉会友の先生方にご相談ください。

(P.70～)

②専門的な勉強をしたい……各種研究会に活動内容をお聞きください。(P.80～)

③研究テーマを改定したい。……各地区の研究主題が参考になります。(P.81～)

他にも、近隣地区の情報を知りたい時、「教育音楽 小学版(音楽の友社 刊)」に掲載されていた先生の実践を直接聞いてみたい時、前任の地区で〇〇の研究に力を入れていたのでアドバイスを受けたい……など、可能性は無限大！ご活用いただければ幸いです。

調査部長 榎本 悦子(立川・柏小)

## 都小音研の ホームページを ご存知ですか？

都小音研のホームページでは、様々な情報を発信しています。会報は最新号はもちろん、バックナンバーも過去2年間分読むことができます。また作曲コンクールの案内も掲載しており、募集要項や応募のための五線紙のダウンロードもできます。受賞者の発表もホームページ上で行われます。今後は、各種研究会の案内も充実させていく予定です。

最新情報を更新していくことができるのが、ホームページの強みです。まだ見たことがないという方は、ぜひ一度アクセスしてください。

都小音研ホームページ

<http://www.tosyouonken.com>

もしくは「都小音研」で検索してください。

検索 都小音研

広報部 岩永 健吾(大田・新宿小)

## ♪♪♪ 理事会報告 ♪♪♪

〈5月理事会〉 5/17 於：松原小学校

議長：杉山 純子(世田谷・船橋小)

○会長あいさつ

○平成30年度運営組織について

○議事

- 6月の行事予定について
- 平成30年度 総会・研究会の反省
- 平成30年度 都小音研大会について
- 各部より \*庶務 \*会計 \*研究 \*事業 \*調査 \*広報

〈6月理事会〉 6/14 於：松原小学校

議長：峯岸 敦子(世田谷・松原小)

○会長あいさつ

○議事

- 7月の行事予定について
- 平成30年度 研究大会について
- 第55回 児童作曲コンクールについて
- 学ぶ理事会について
- 各部より \*庶務 \*会計 \*研究 \*事業 \*調査 \*広報

○各地区理事の自己紹介



## 編集後記

あっという間に1学期が過ぎようとしています。変化の多い4月、春の行事が満載の5・6月、まとめの7月、と多忙ながらも充実した毎日を送られたことでしょう。夏休みは、心と頭と身体をしっかりとリフレッシュさせて2学期に備えたいですね。(A)

## 会報 都小音研

発行所：東京都小学校音楽教育研究会

発行人：会長 石橋 悟

編集：広報部

印刷：コウシン 03-3324-9288